

## 都市空間政策特論第1（都市地域計画論・街並編）シラバス

木曜 6-7 限 18:40-20:05、20:10-21:35

担当：窪田亜矢（地域デザイン研究室・特任教授）

### 1. 講義の主旨

本講義においては、以下の二点を考えたい。

- ・ 日常の風景を支える空間計画が、非日常時においては、どう変わらねばならないのか？
- ・ 非日常時に計画された事業が日常においてどう機能するのか？

20年前の阪神淡路大震災、5年前の東日本大震災に学ぶことを中心にして、外部から二名の先生方をお招きする。

### 2. スケジュール

5月12日：窪田

- ・ 東日本大震災における復興とは何か
- ・ 阪神淡路大震災における復興とは何か
- ・ 必読論文や参考文献の紹介

5月19日：中山久憲先生（神戸学院大学教授）

阪神淡路大震災においては、二段階都市計画という考え方が導入された。復興の速度が要請されると同時に、丁寧な住民の意見を反映させるために生み出された。阪神淡路大震災当時、神戸市役所に勤めておられ、湊川地区の復興に深く関わられた経験も踏まえて、その実態をご教授いただく。

講義を受けて考えたことについて、A4一枚程度のメモを提出。

5月26日：田中正人先生

阪神淡路大震災時に修士論文を書き終えた直後で、じっくりと研究の対象として見つめ続けてきたと同時に、神戸エリアにおける日常のまちづくりを実務としても手がけていらした。執筆された膨大な論文は各自が事前に学んでくることを前提に、東日本大震災と合わせて、復興のあり方をご教授いただく。

講義を受けて考えたことについて、A4一枚程度のメモを提出。

6月 2日：窪田

5月19日と5月26日にご講義いただいたことをふまえて全員で議論する。

### 3. 評価

点数は、必読論文などもふまえて、具体的な災害復興の事例を対象にしたレポートを提出してもらい、採点する。

以 上